

システム開発のエスキュービズム（東京・港、藪崎敬祐社長）は米アップルのタブレット（多機能携帯端末）「iPad」を用いたシステムを開発する。顧客名を吹き込めば、来店・購買履歴などが即座に分かり、商品提案などに生かせる。9月から発売する。タブレットを用いるPOSシステムは他にもあるが、音声認識機能を搭載するのは初めてという。

商品呼べば在庫量表示

POS（販売時点情報管理）システムに写真に音声認識機能を追加する。接客中の店員が商品名を吹き込めば、その場で在庫量を把握できる。顧客名を吹き込めば、来店・購買履歴などが即座に分かり、商品提案などに生かせる。9月から発売する。タブレットを用いるPOSシステムは他にもあるが、音声認識機能を搭載するのは初めてという。

最大で1000店舗程度

エスキュービズム

POSに音声認識機能



の規模まで対応可能で、主に接客時間が長いアパレルなどの専門店での活用を見込む。顧客を待たせず在庫量を確認したり、好みの商品を即時に検索したりする。

ることができ、接客時の顧客の満足度を高められる。

音声認識機能はオプションサービスとして提供する。1台あたりのPOSシステムの基本料金（端末代を除く）は税別で初期費用30万円、月額利用料5000円だが、音声認識機能を利用する場合は初期費用で20万円、月額利用料で2000円の追加が必要になる。